

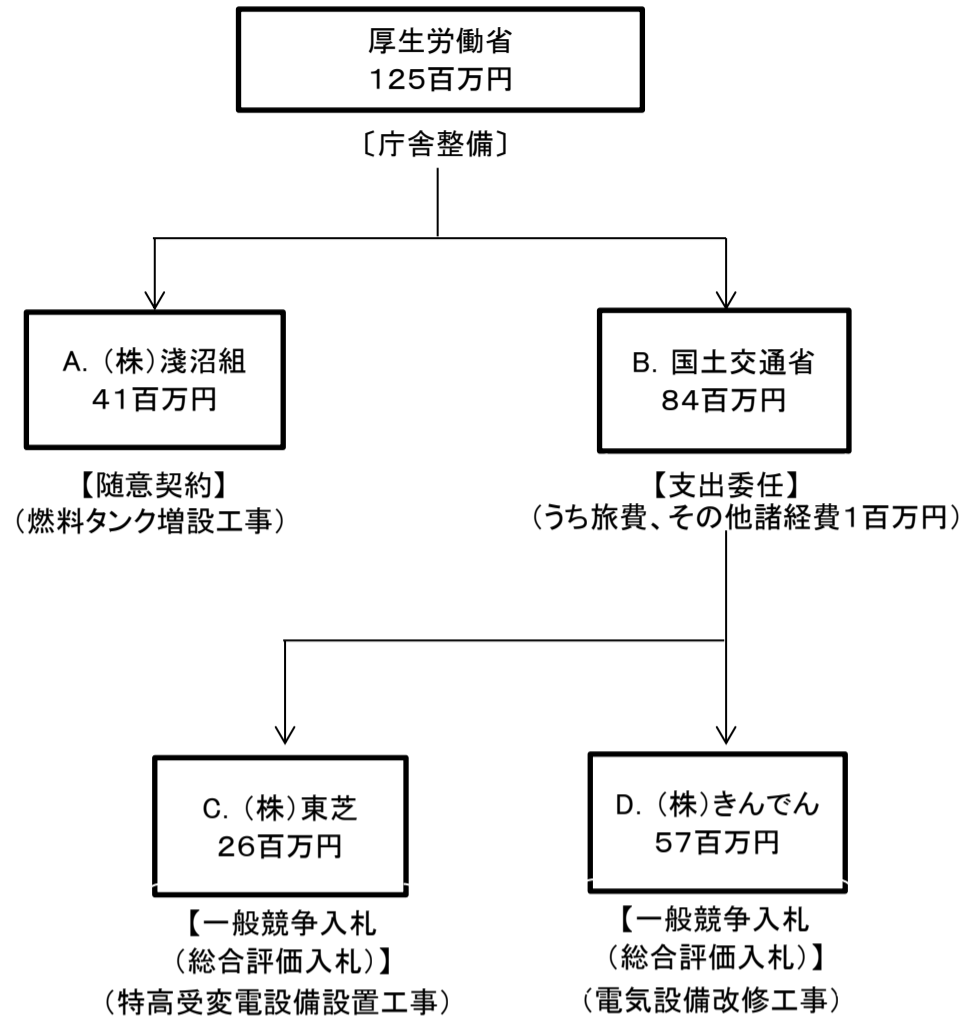
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	施設整備に必要な経費		担当部局庁	労働基準局労災補償部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度		担当課室	労災保険業務課		植松 弘		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律第9、11条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	上石神井庁舎は事務棟、電算棟からなる庁舎で、電算棟には労働行政にかかるシステム及びその安定的な運用を行うための様々な設備、機器等が設置されている。必要な施設整備を行うことで円滑な行政事務の遂行及びシステムの安定稼働に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	主な事業内容は、電気工事、附帯設備工事及び経年劣化した設備の更新である。 平成24年度には、附帯設備工事として、倉庫等の新築、中央監視装置及び構内電話設備の更新を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	/		544	22	48	
		繰越し等	/		560	348	/	
		計	6	0.7	756	370	48	
	執行額	1.3	0.07	125	/	/		
	執行率(%)	21.7%	10.0%	16.5%	/	/		
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度
本事業は施設の整備に係るものであるため、定量的な成果目標を示すことは困難である		成果実績		-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	/	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は施設の整備に係るものであるため、定量的な活動指標を示すことは困難である		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)		-	(-)	(-)	()
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	工事費	22	48	各年度ごとに必要な整備を行っており、工事内容が異なるため。				
計	22	48						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	全国で運用する労働行政関係システムを設置する施設の整備事業であり、本事業の優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国の所有する施設の整備であり、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	不用が発生した理由は、予定していた工事の中止及び入札差金の発生に伴うものである。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	燃料タンク増設工事については随意契約としたが、計画停電・大規模停電に備えて至急燃料タンクを増設する必要があり、早期に施工できるのは既設のタンクを設置した実績を有し当該庁舎の地盤を熟知している浅沼組しかないため、選定は妥当である。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	全国で運用する労働行政関係システムの安定稼働に寄与し、被災労働者に対する迅速・適正な保険給付の支払い等に資することから受益者との負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	円滑な行政事務の遂行及びシステムの安定稼働という事業目的に即し真に必要な施設整備に限定されている。
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	全国で運用する労働行政関係システムの安定稼働に寄与し、十分に活用されている。
点検結果	<p>やむを得ない場合を除き、原則として入札にて業者の選定を行い、支出している。 当予算は、労働行政に係るシステムの安定的な運用を確保するために、施設の整備や経年劣化した設備の更新等を行うものである。今後も計画的な修繕、整備を行うことにより、効率的な執行を行うこととしたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>「施設整備に必要な経費」については、行政事務の円滑な遂行及びシステムの安定稼働を行うために必要な経費であり、本事業の必要性の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	668	平成23年行政事業レビュー	0605

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)浅沼組			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	燃料タンク増設工事	41			
計		41	計		0
B.国土交通省			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸経費	現場調査等の交通費・事務用品の購入等	1			
工事費	特高受変電設備設置工事・電気設備改修工事	83			
計		84	計		0
C.(株)東芝			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	特高受変電設備設置工事	26			
計		26	計		0
D.(株)きんでん			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	電気設備改修工事	57			
計		57	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)浅沼組	燃料タンク増設工事	41	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土交通省	現場調査等	84		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東芝	特高受変電設備設置工事	26	3	86.82

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)きんでん	電気設備改修工事	57	1	98.35